

## 聴く力・話す力の向上につなげたい

### 群馬県町村議会議員研修会

令和元年10月25日(金) 吉岡町文化センター

#### 「新時代の自治体議会の姿」

東京大学名誉教授

大森 彌氏

「議会は、地域の将来は自分たちで選ぶとつていくという、分権的な発想の拠点になる必要がある。議員の個別事情、期数や党派などにとらわれず、合議体として、地域の将来に責任をとるという一点で、議会の意思として意見や議論を集約するべき」と話されました。我々も自由闊達に意見を交わし、議論する議会でありたいと感じました。

#### 「人生に効く脳科学」 ～脳が創り出す男女のミゾ、人生の波」

(株)感性リサーチ代表取締役

黒川伊保子氏

「人工知能とヒトの対話を設計していたら、男女が好む対話モデルが全く違い、相いれないことがわかった。男女は、人生に必要な感性を真つ二つに分けて、それぞれの脳に搭載されたペアの装置であり、いらつき合い、むかつき合うことで、最高のパフォーマンスを発揮する組み合わせである。また、脳の機能は50代半ばにピークを迎える。物忘れは老化ではなく進化」という話がありました。

## ヒントをたくさんもらった実りある研修

### 全国町村議会広報研修会

令和元年9月24日(火)

シエーンバツハサボー(東京都千代田区)

#### 本年度のテーマ

- ① 「読者目線で親切な広報紙をつくるには」手に取られ、読まれ、行動に結びつけるには」
- ② 「情報をわかりやすく伝える」

① 講師は月刊紙の現役編集長であり、豊富な経験に基づき「広報紙の発行目的は「住民と議会との良好な関係づくり」であり、住民が、議会への関心を高め、議会に参加し、議会とともによりよい地域社会をつくっていくことである」との話がありました。

著書「マネジメント」等で有名なピーター・ドラッカーの言葉を引用しての具体的な話もあり、理解しやすいものでした。② 講師は、日刊新聞紙の編集・校閲に関わっている文章のプロでした。「わかりやすい文章の基本」として、実際の文章を検証しました。

\*\*\*\*\*

両テーマとも、広報特別委員として、関心の高いもので真剣に受講しました。途中で何度も「そうそう!」「なるほど!」と相づちを打ちながら耳を傾けました。

## ONE TEAMでベストな広報紙を目指す

### 群馬県町村議会広報研修会

令和元年11月18日(月)

群馬県市町村会館

新しい広報特別委員会のメンバーとしてスタート直後、最初の研修会になりました。

テーマは「広報紙制作のスキルポイント」と「議会広報クリニック」でした。内容は「広報紙の制作に当たって」「広報紙の編集のポイント」「アイサツの法則を用いて、紙面の編集及び表現を確認する」「今後の広報活動に求められること」の4項目でした。

「住民に読んでいただくための紙面編集の工夫はできているか」「住民参加の紙面企画はあるか」等、具体的事例を挙げての話もあり、貴重な時間でした。



こんな議案を審議しました

鋭く迫る!一般質問

委員会のご様子

政策提言

その他